



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社秋田銀行
コード番号 8343 URL <https://www.akita-bank.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 芦田 晃輔
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画部長 (氏名) 林口 哲也
特定取引勘定設置の有無 無
配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

TEL 018-863-1212

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	40,003	30.0	5,648	23.6	3,296	2.3
2024年3月期第3四半期	30,768	△13.4	4,567	△9.3	3,219	△11.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △4,372百万円 (ー%) 2024年3月期第3四半期 11,285百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	186.63	ー
2024年3月期第3四半期	183.11	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,566,042	166,927	4.6
2024年3月期	3,584,190	172,793	4.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 166,193百万円 2024年3月期 172,072百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	35.00	ー	45.00	80.00
2025年3月期	ー	45.00	ー	ー	ー
2025年3月期(予想)	ー	ー	ー	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	16.7	5,000	10.1	283.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	18,093,643株	2024年3月期	18,093,643株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	390,257株	2024年3月期	457,636株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	17,663,272株	2024年3月期3Q	17,581,979株

- (注) 期末自己株式数には、BIP信託が保有する当行株式数（2025年3月期3Q110,078株、2024年3月期111,705株）及びESOP信託が保有する当行株式数（2025年3月期3Q133,400株、2024年3月期200,700株）を含めております。
また、期中平均株式数を算定するにあたり、BIP信託が保有する当行株式の期中平均株式数（2025年3月期3Q110,617株、2024年3月期3Q111,990株）及びESOP信託が保有する当行株式の期中平均株式数（2025年3月期3Q173,859株、2024年3月期3Q255,116株）を控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(会計方針の変更に関する注記)	P. 6
(会計上の見積りの変更に関する注記)	P. 6
(セグメント情報等の注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 7
(参考) 2025年3月期 第3四半期決算の状況(四半期決算補足説明資料)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、資金運用収益の増加と株式等売却益の増加により、前年同期比92億35百万円増加し400億3百万円となりました。経常費用は、国債等債券売却損・償還損の増加と与信関係費用の増加により、81億54百万円増加し343億55百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比10億81百万円増加し56億48百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比77百万円増加し32億96百万円となりました。

セグメント別の業績については、銀行業務は、経常収益が前年同期比92億79百万円増加の359億74百万円、経常利益は14億43百万円増加の59億93百万円となりました。

リース業務は、経常収益が前年同期比2億23百万円増加の42億16百万円、経常利益は1億32百万円減少の1億5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総預金（譲渡性預金を含む。）

個人預金の増加により、前連結会計年度末比551億円増加し、3兆2,311億円となりました。

貸出金

個人ローンおよび事業先向け貸出の増加により、前連結会計年度末比428億円増加し、2兆335億円となりました。

有価証券

前連結会計年度末比204億円減少し、7,880億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2024年5月10日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	688,702	651,715
コールローン及び買入手形	15,450	28,950
買入金銭債権	10,767	7,368
金銭の信託	—	2,019
有価証券	808,422	788,019
貸出金	1,990,794	2,033,559
外国為替	2,373	1,938
その他資産	41,708	28,324
有形固定資産	17,878	17,740
無形固定資産	904	786
退職給付に係る資産	12,068	12,316
繰延税金資産	243	1,852
支払承諾見返	8,696	8,944
貸倒引当金	△13,820	△17,491
投資損失引当金	△0	△0
資産の部合計	3,584,190	3,566,042
負債の部		
預金	3,113,432	3,130,411
譲渡性預金	62,654	100,704
コールマネー及び売渡手形	477	296
借入金	208,608	130,257
外国為替	140	55
その他負債	11,662	24,505
役員賞与引当金	20	10
退職給付に係る負債	942	810
役員退職慰労引当金	20	47
株式給付引当金	115	138
睡眠預金払戻損失引当金	219	173
偶発損失引当金	767	782
繰延税金負債	2,165	505
再評価に係る繰延税金負債	1,473	1,471
支払承諾	8,696	8,944
負債の部合計	3,411,396	3,399,115
純資産の部		
資本金	14,100	14,100
資本剰余金	9,212	9,212
利益剰余金	132,146	133,831
自己株式	△1,078	△954
株主資本合計	154,381	156,190
その他有価証券評価差額金	9,416	1,642
繰延ヘッジ損益	—	442
土地再評価差額金	2,902	2,898
退職給付に係る調整累計額	5,372	5,019
その他の包括利益累計額合計	17,691	10,002
非支配株主持分	721	734
純資産の部合計	172,793	166,927
負債及び純資産の部合計	3,584,190	3,566,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	30,768	40,003
資金運用収益	18,626	21,251
(うち貸出金利息)	12,218	13,942
(うち有価証券利息配当金)	4,776	5,622
役務取引等収益	5,229	5,575
その他業務収益	5,227	5,104
その他経常収益	1,684	8,072
経常費用	26,201	34,355
資金調達費用	1,408	1,858
(うち預金利息)	77	1,019
役務取引等費用	1,757	1,594
その他業務費用	5,556	10,783
営業経費	15,931	15,783
その他経常費用	1,546	4,335
経常利益	4,567	5,648
特別利益	8	4
固定資産処分益	8	4
特別損失	261	70
固定資産処分損	201	67
減損損失	60	3
税金等調整前四半期純利益	4,314	5,582
法人税、住民税及び事業税	867	2,247
法人税等調整額	211	27
法人税等合計	1,078	2,275
四半期純利益	3,235	3,306
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,219	3,296

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,235	3,306
その他の包括利益	8,050	△7,679
その他有価証券評価差額金	8,102	△7,769
繰延ヘッジ損益	3	442
退職給付に係る調整額	△56	△352
四半期包括利益	11,285	△4,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,265	△4,387
非支配株主に係る四半期包括利益	20	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業務	リース業務	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	26,261	3,880	30,141	626	30,768	—	30,768
セグメント間の 内部経常収益	433	113	546	322	869	△869	—
計	26,695	3,993	30,688	949	31,638	△869	30,768
セグメント利益	4,550	237	4,788	174	4,962	△395	4,567

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティング業務、地域商社業務、ファンドの組成・運営業務、保証業務及びクレジットカード業務等を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△395百万円は、セグメント間取引消去による減額395百万円であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「銀行業務」セグメントにおいて、営業利益の減少によりキャッシュ・フローが低下した資産、使用方法の変更がある資産及び地価が大幅に下落した資産について減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、60百万円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業務	リース業務	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	35,239	4,109	39,348	659	40,008	△5	40,003
セグメント間の 内部経常収益	735	106	842	300	1,142	△1,142	—
計	35,974	4,216	40,191	960	41,151	△1,148	40,003
セグメント利益	5,993	105	6,099	231	6,330	△682	5,648

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティング業務、地域商社業務、ファンドの組成・運營業務、保証業務及びクレジットカード業務等を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△682百万円は、セグメント間取引消去による減額682百万円であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「銀行業務」セグメントにおいて、営業利益の減少によりキャッシュ・フローが低下した資産、使用方法の変更がある資産及び地価が大幅に下落した資産について減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、3百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,172百万円	965百万円

(参考)2025年3月期 第3四半期決算の状況

1. 損益の状況(単体)

(単位：百万円)

2025年3月期
通期予想値
(12か月累計)

		当第3四半期(A) (2025年3月期)	前第3四半期(B) (2024年3月期)	比較 (A)-(B)	
経常収益	1	35,974	26,695	9,279	
①業務粗利益	2	17,365	19,610	△2,245	
コア業務粗利益(①-②)	3	23,330	20,320	3,010	
資金利益	4	20,070	17,585	2,485	
役務取引等利益	5	3,210	2,700	510	
その他業務利益 (②うち国債等債券損益)	6	△5,915	△674	△5,241	
	7	△5,964	△710	△5,254	
経費(除く臨時処理分)	8	15,162	15,278	△116	
人件費	9	8,065	7,899	166	
物件費	10	6,027	6,355	△328	
税金	11	1,068	1,023	45	
コア業務純益(③-②)	12	8,168	5,042	3,126	9,200
コア業務純益(除く投信解約損益)	13	8,068	4,565	3,503	
③実質業務純益	14	2,203	4,331	△2,128	
④一般貸倒引当金繰入額	15	1,196	△10	1,206	
業務純益	16	1,007	4,341	△3,334	
臨時損益	17	4,985	209	4,776	
⑤不良債権処理額	18	2,581	179	2,402	
うち個別貸倒引当金繰入額	19	2,489	64	2,425	
株式等関係損益	20	7,103	564	6,539	
その他臨時損益	21	464	△176	640	
経常利益	22	5,993	4,550	1,443	7,700
特別損益	23	△65	△253	188	
うち固定資産処分損益	24	△62	△192	130	
うち減損損失	25	3	60	△57	
税引前四半期純利益	26	5,927	4,297	1,630	
法人税、住民税及び事業税	27	2,132	751	1,381	
法人税等調整額	28	40	194	△154	
法人税等合計	29	2,173	945	1,228	
四半期(当期)純利益	30	3,754	3,352	402	5,000
与信関係費用(④+⑤)	31	3,777	169	3,608	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- コア業務純益は、前年同期比 3,126 百万円増加し 8,168 百万円となりました。(増加率 61.9%)
貸出金利息、有価証券利息の増加により預金等支払利息の増加を吸収し、資金利益が前年同期比 2,485 百万円増加したことに加え、役務取引等利益は 510 百万円増加したことが要因です。
貸出金利息 13,963 百万円 前年同期比 +1,741 百万円
有価証券利息 6,266 百万円 前年同期比 +1,137 百万円
預金等支払利息 1,064 百万円 前年同期比 +976 百万円
- 経常利益は、1,443 百万円増加し 5,993 百万円となりました。(増加率 31.7%)
与信関係費用は 3,608 百万円増加したものの、コア業務純益の増加に加えて株式等関係損益が 6,539 百万円好転したことが要因です。
- 四半期純利益は、402 百万円増加し 3,754 百万円となりました。(増加率 11.9%)

2. 金融再生法開示債権(単体)

- 金融再生法開示債権は前年同月末(2023年12月末)比46億円増加したことから、不良債権比率は0.15ポイント上昇して2.79%になりました。
- 部分直接償却を実施した場合の不良債権比率は2.55%になりました。

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

(単位:億円)

	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比	2023年12月末	2024年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	73	△ 2	3	75	70
危険債権	473	47	45	426	428
要管理債権	31	1	△ 4	30	35
合計(A)	577	46	44	531	533
対象債権(B)	20,630	558	440	20,072	20,190
不良債権比率(A)/(B)	2.79%	0.15%	0.16%	2.64%	2.63%

当行は部分直接償却を実施しておりませんが、仮に実施した場合の債権額残高は次のとおりであります。

(単位:億円)

	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比	2023年12月末	2024年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	22	△ 2	0	24	22
危険債権	473	47	45	426	428
要管理債権	31	1	△ 4	30	35
合計(A)	527	47	42	480	485
対象債権(B)	20,579	558	436	20,021	20,143
不良債権比率(A)/(B)	2.55%	0.16%	0.15%	2.39%	2.40%

3. 自己資本比率(国内基準)

2024年12月末の自己資本比率(国内基準)については現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。

4. その他有価証券の評価差額（単体）

- 株式および債券の評価損益が悪化したことから、前年同月末（2023年12月末）比24億円悪化し6億円の評価益となりました。
前期末（2024年3月末）比では114億円の悪化となりました。

（単位：億円）

	2024年12月末					2023年12月末			2024年3月末		
	評価差額	2023年12月末比		2024年3月末比		評価差額	うち益	うち損	評価差額	うち益	うち損
		2023年12月末比	2024年3月末比	うち益	うち損						
その他有価証券	6	△ 24	△ 114	352	346	30	349	318	120	428	308
株式	320	△ 9	△ 73	323	3	329	330	1	393	394	1
債券	△ 150	△ 43	△ 29	0	151	△ 107	2	110	△ 121	2	123
その他	△ 163	28	△ 12	28	191	△ 191	15	207	△ 151	31	183

（注）記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

5. 有価証券の残高（単体）

- 国債の運用残高が増加したことにより、有価証券は前年同月末（2023年12月末）比139億円増加し7,908億円となりました。（増加率1.7%）
前期末（2024年3月末）比では206億円の減少となりました。（増加率△2.5%）

（単位：億円）

	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比	2023年12月末	2024年3月末
国債	902	639	393	263	509
地方債	2,485	△ 369	△ 344	2,854	2,829
短期社債	—	△ 39	△ 49	39	49
社債	912	△ 174	△ 176	1,086	1,088
株式	586	20	△ 35	566	621
その他の証券	3,020	61	5	2,959	3,015
合計	7,908	139	△ 206	7,769	8,114

（注）記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

6. 預金、貸出金および預り資産（単体）

- 預金は、個人預金の増加により前年同月末（2023年12月末）比174億円増加し3兆2,381億円となりました。（増加率0.5%）
- 貸出金は、個人ローンおよび事業先向け貸出の増加により、前年同月末比559億円増加し2兆404億円となりました。（増加率2.8%）
 中小企業等貸出は、前年同月末比434億円増加し1兆980億円となりました。（増加率4.1%）
- 預り資産の残高は、前年同月末比175億円増加し2,409億円となりました。（増加率7.8%）

(1) 預金、貸出金の残高

（単位：億円）

	2024年12月末	2023年 12月末比	2024年 3月末比	2023年12月末	2024年3月末
	預金（譲渡性預金含む）	32,381	174	545	32,207
うち個人預金	21,385	305	482	21,080	20,903
貸出金	20,404	559	431	19,845	19,973
うち個人ローン	3,874	69	84	3,805	3,790
中小企業等貸出	10,980	434	330	10,546	10,650

（注）記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 預り資産の残高

（単位：億円）

	2024年12月末	2023年 12月末比	2024年 3月末比	2023年12月末	2024年3月末
公 共 債	116	29	16	87	100
投 資 信 託	721	80	21	641	700
生 命 保 険	1,570	65	58	1,505	1,512
合 計	2,409	175	95	2,234	2,314

（注）記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

（以 上）